

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 10日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		利用人数が多い日にパニックなどで泣く児童がいても、講座などで使用している関係で、個室のスペースが使えないことがあります。
	2	職員の配置数は適切である	75%	25%	常に児童の場所や状態を把握できるよう声掛けを行っています。	子どもが落ち着ける状況を作れるような支援を行います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	25%	物を沢山置かずに必要なものだけを提供するようにしています。	広いスペースでは動きまわる児童もいるので、どの児童も落ち着けるようなスペース作りについても考えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	75%	25%	毎日清掃と消毒を行っています。	整理整頓を心掛けて無駄のない空間づくりを目指します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%		PDCAサイクルに基づいて業務改善を図ります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%		継続して行い、改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	25%	毎年行っています。	継続して行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に行う機会があります。	継続して行います。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	75%	25%	作成しています。	スタッフが支援計画について内容の把握をして、それに基づいて支援を行うよう体制を整えていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%	使用しています。	継続して行います。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	75%	25%	設定しています。	継続して行き、スタッフ間での情報共有に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	75%	25%	行うよう努めています。	支援計画の内容をスタッフが把握できるよう、朝礼終礼の時間に情報共有を綿密に行います。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%		チームでの話し合いを日々行います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%	プログラムについては毎月新しいものを取り入れて取り組みを行っています。	チームで話し合いを行い、新しいアイデアを取り入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	75%	25%	行っています。	継続して行います。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	行っています。	短い時間での確に情報共有を行い、支援の内容や役割分担を行います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	25%	行っています。	改善が認められない部分については、再度話し合いを行います。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	75%	25%	行っています。	継続して行います。
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児発管が参画しています。	継続して行います。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%	行っています。	話し合いを行い、必要な情報についてはスタッフ全員で共有を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	50%	50%	現在医療的ケアが必要な児童はいないが連携体制は整えています。	必要に応じて行います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	50%	50%	現在医療的ケアが必要な児童はいないが連携体制は整えています。	必要に応じて行います。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	必要に応じて連絡を取り合い情報を共有している。	やりとりや情報についてスタッフ全員が周知するようにします。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	必要に応じて連絡を取り合い情報を共有しています。	やりとりや情報についてスタッフ全員が周知するようにします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	受けています。	継続して行います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	75%	ほとんどありません。	必要に応じて行います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	25%	75%		機会があれば参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		継続して行います。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%		スタッフが専門性も基づいて保護者に有益な情報を伝えたり、メンタルケアを行える様に研鑽を積み重ねていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75%	25%		継続して行います。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	75%	25%		必ず確認の上、署名捺印を貰っています。継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75%	25%		全スタッフが助言や支援を行えるように、保護者との関係性づくりに努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		ニーズに応じて行います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	75%	25%	体制を整えています。	伝達事項の漏れがない様に努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75%	25%	行っています。	継続して行います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	注意しています。	継続して行います。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75%	25%	行っています。	継続して行います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		必要やニーズに応じて行います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	75%	25%	毎月避難訓練を実施して、シミュレーションや話し合いを行っています。	継続して行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	行っています。	継続して行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	行っています。	継続して聞き取りを行っていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	行っています。	継続して聞き取りを行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	25%	行っています。	スタッフ間での共有を進めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	25%	行っています。	継続して行います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	75%	25%	行っています。	継続して行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。